

- 問1 大都市の近くで、消費者のニーズに合わせて野菜や花などを栽培する農業形態を何という？
- 問2 火山灰が堆積してできた、南九州に広がる水はけの良い台地を何という？
- 問3 佐賀県の有田町を中心に生産され、日本で初めて焼かれたと言われる伝統的な焼き物を何という？
- 問4 潮の満ち引きの差が非常に大きく、干潮時に広大な砂泥の平原が現れる地形を何という？
- 問5 鹿児島県の種子島にあり、日本のロケット打ち上げなどを行っている施設を何という？
- 問6 福岡県北部に位置し、かつて日本の重化学工業の発展を支えた日本四大工業地帯の一つを何という？
- 問7 沖縄県のように一年を通して気温が高く、冬でも温暖な気候区分を何という？
- 問8 沖縄県に存在した、独自の文化を築き上げた王国を何という？
- 問9 崩れやすく浸食されやすい性質を持つシラス台地において、大雨の際に発生する恐れがある災害を何という？
- 問10 筑紫平野のように温暖な気候を生かして、同一の耕地で一年に二種類の作物を栽培することを何という？
- 問11 阿蘇山周辺に見られる、火山活動によってつくられた土壌を何という？
- 問12 九州地方において、経済や交通の中心地として発展しており、政令指定都市にも指定されている福岡県の県庁所在地を何という？
- 問13 桜島が位置している、鹿児島県の湾を何という？
- 問14 熊本県で、豊富な地下水を活用して工場が多く集まっている、集積回路などの電子部品を何という？
- 問15 宮崎県や鹿児島県にまたがる、険しい山々が連なる地域を何という？
- 問16 1914年の大規模な噴火により、桜島が地続きになった半島を何という？
- 問17 宮崎県などで盛んな、温かい気候を利用して、季節を早めて作物を育てる栽培方法を何という？
- 問18 大分市を中心とする海岸部で見られる、鉄鋼業や石油化学工業が集まった工業地域のことを何という？
- 問19 佐賀県の南部に広がり、米作りが盛んな、佐賀平野の別名を何という？
- 問20 かつて九州地方において、アジアとの外交や防衛の拠点として設置された官庁を何という？
- 問21 周囲を陸地に囲まれ、海水が入れ替わりにくいため、環境保全が強く求められる水域を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 近郊農業	大都市近郊で、鮮度が重要な野菜や花などを生産する農業形態です。輸送コストを抑えられるだけでなく、需要に応じた生産計画が立てやすく、効率的な販売ができる利点があります。長崎県などでも、温暖な気候を活かして都市部向けに生産が行われています。
問2	答え シラス台地	この火砕流が堆積してきた地層は「シラス」と呼ばれ、これによって形成された台地がシラス台地です。シラスは粒子が粗く水はけが良すぎるため、田んぼを作ってもすぐに水が抜けてしまうという性質があり、長年農業に悩まされてきました。
問3	答え 有田焼	日本で初めて磁器が焼かれた場所として知られる有田で生産される焼き物です。透き通るような白磁に華やかな絵付けが施されたものが多く、海外にも多く輸出された歴史を持ちます。伊万里港から出荷されたため、「伊万里焼」とも呼ばれます。
問4	答え 干潟	このようにして現れる地形を干潟と呼びます。干潟は河川から運ばれてくる有機物が多く含まれるため、非常に豊かな栄養分があります。そのため、魚介類や貝類、渡り鳥など多くの生物にとって重要な生息・繁殖場所となっています。
問5	答え 種子島宇宙センター	種子島宇宙センターは、ロケットの発射実験や人工衛星の打ち上げを行う日本の宇宙開発の中核施設です。海に面しているため、ロケット打ち上げの際にも安全が確保しやすく、地理的に非常に適した場所にあります。
問6	答え 北九州工業地帯	福岡県北九州市を中心とした地域で、鉄鋼業を核に機械工業や化学工業が盛んです。かつては日本の産業を牽引する中心地として繁栄し、日本の近代化に多大な貢献をしました。
問7	答え 亜熱帯	亜熱帯は熱帯と温帯の中間に位置する気候帯です。沖縄県では、この温暖な気候を利用して、パイナップルやさとうきびなどの熱帯・亜熱帯性作物の栽培が行われています。冬でも霜が降りにくいので、冬野菜の出荷なども盛んです。
問8	答え 琉球王国	琉球王国は、中国（明・清）や東南アジア、日本との間で活発な中継貿易を行い、繁栄しました。このため、中国文化や日本文化の影響を受けつつも、独自の建築様式や芸術、音楽、食文化を発展させました。首里城はその象徴的な存在です。
問9	答え 土砂災害	そのため、特に梅雨の時期や台風の通過時に激しい雨が降ると、地盤が緩んで崖崩れや土石流といった土砂災害が引き起こされます。このため、住民の命を守るための避難計画や、治山・治水対策が非常に重要視されています。
問10	答え 二毛作	二毛作とは、主に夏から秋にかけて水稻（お米）を栽培し、その後の冬から春にかけて小麦や大麦などを栽培する農法のことです。土地を一年中有効に利用することで、農家の収益向上や食糧供給の安定に大きく寄与してきました。
問11	答え 火山灰	これらは火山灰と呼ばれ、堆積すると土壌となります。阿蘇山周辺の広大な土地には、この火山灰が厚く堆積した層が広がっています。火山灰土壌は水はけが非常に良いという特徴がありますが、一方で養分を保持しにくいので、古くは肥料を工夫するなどの努力が必要でした。
問12	答え 福岡市	政令指定都市に指定されており、九州の政治・経済・文化の中心的な役割を担っています。特に福岡空港が市街地から近く、交通の利便性が非常に高いことや、アジア諸国に近い立地からビジネスの拠点として重要視されています。
問13	答え 鹿児島湾	鹿児島湾は、火山活動が活発な桜島を中央に抱え、北側にはカルデラ地形を持つ独特の湾です。海の中にも火山の根があるため、独特の海洋環境が形作られています。地質学的には「錦江湾」とも呼ばれ、古くから海上交通の拠点として活用されてきました。
問14	答え 半導体	半導体は、現代のスマートフォンや自動車、コンピュータなどの家電製品に欠かせない電子部品です。熊本県には大手メーカーの工場や関連施設が集中しており、シリコンアイランドと呼ばれる九州の中でも特に重要な拠点となっています。
問15	答え 九州山地	九州山地は、宮崎県と鹿児島県の県境付近に広がる山脈で、九州の「屋根」のような存在です。地形が非常に険しいため平地が少なく、人々の居住地は主に沿岸部に集中しています。
問16	答え 大隅半島	1914年（大正3年）に起きた大噴火では、凄まじい量の溶岩が流出しました。この溶岩流によって、それまで海峡であった部分が埋め立てられ、桜島は東側に位置する大隅半島と物理的に繋がりました。これにより桜島は島ではなくなった経緯があります。
問17	答え 促成栽培	促成栽培は、ビニールハウスなどを利用して保温し、作物の生育を早めて通常よりも早い時期に出荷する技術です。ピーマンやキュウリなどの野菜生産において非常に大きな成果を上げています。
問18	答え 大分臨海工業地域	大分臨海工業地域は、広大な用地と港湾設備を活かし、鉄鋼、石油化学、造船などの重厚長大産業が中心となっています。この工業地域の発展により、大分県の経済基盤が大きく強化されました。
問19	答え 筑紫平野	筑紫平野は九州最大の面積を持つ平野の一つであり、有明海に面しています。温暖な気候と豊富な水を利用して稲作が非常に盛んで、日本有数の穀倉地帯としての役割を担ってきました。
問20	答え 太宰府	現在の福岡県筑紫野市付近に置かれた官庁で、西海道（九州）を統括する行政機能と、海外からの使節を迎える外交機能、そして九州の防衛機能を持っていました。特に「遠の朝廷（とおのみかど）」とも呼ばれ、非常に重要な役割を果たしました。
問21	答え 閉鎖性水域	このような場所を閉鎖性水域と呼びます。河川から流れ込む生活排水や肥料成分などが蓄積しやすく、赤潮の発生や水質の悪化が起こりやすい特徴があります。そのため、環境を守るためには周辺自治体や住民が協力して汚染を減らす努力が不可欠です。